



中之町幼稚園だより

令和 8 年 5 月 号

港区立中之町幼稚園

園長 酒井正美

園庭で鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。園庭や近隣の若葉が美しい季節となりました。

入園、進級から1か月が経とうとしています。子供たちは、担任への信頼感を基盤に、新たな環境での生活に親しみ、リズムが感じられるようになってきました。4月当初の張り切る気持ちをきっかけに、グンと成長した姿が見られます。朝、保護者の方と離れがたく、涙が出てしまうことがあっても、担任との関わりを通して遊び始める様子が見られます。



朝や帰りに、自分で園リュックを背負い、帽子をかぶり歩くこと、登園時間内に遅れずに来られることなど、一つ一つは小さな事かもしれませんが、毎日の積み重ねの力は大きなものです。自分が使ったものは自分で片付けること、自分の持ち物は自分で持つこと、時間を守ること、これらは、自分のしたこと責任を持つことにつながります。これらをしっかり実践することは、望ましい生活リズムや習慣として、お子さんの自信ややる気を支える土台となります。幼稚園と保護者の皆様と共に、しっかりと支えていってあげたいと思います。

早春に可愛らしい花を咲かせた「サクランボ」の桜の木に、実がたわわに実りました。「きれいだね。」「おいしそう！」と、子供たち。5歳児宇宙組が相談をして、収穫することになりました。収穫をしながら、「たくさん採れたね。」「小さい組さんの分もありそう！」と会話が聞こえてきました。昨年度の5歳児宇宙組に、収穫したものをおすそ分けしてもらった経験がある子供たち。年中、年少の友達もサクランボに興味をもち見ていたのも知っていて、このような会話となったのだと思います。幼稚園の皆で、甘酸っぱいサクランボの美味しさを味わうことができました。

園庭の木々はまだ細く小さなものばかりですが、季節を知らせてくれる、子供たちの心を育ててくれる身近な自然環境として大切に、子供たちの貴重な経験につなげていきたいと思っています。

これからの季節、身近な自然に親しんだり、砂遊び、どろんこ遊び、体を動かす遊びをしたりするなど、戸外での遊びをたっぷり楽しみたいと思います。